

時期

トピックス

### ■真田幸村で大阪の夏を！

NHK大河ドラマにて放映中の真田丸ですが、各エリアでイベントや交通広告の出稿があり賑わっている。大阪市交通局は、戦国乱世の時代に活躍した真田幸村ゆかりの地が市営地下鉄沿線に多く点在していることから、地域の活性化と市営交通の更なる需要を創出するため、「幸村が駆け抜けた大阪」PRキャンペーンを実施中。

このキャンペーンの第一弾として、2016年6月4日(土)から、「決戦の地」最寄の地下鉄6駅を当時の真田幸村(信繁)をイメージしたデザインシートで装飾している。

実施期間:2016年6月4日(土)~12月末(予定)  
 実施駅:中央線「谷町四丁目駅」・長堀鶴見緑地線「玉造駅」  
 谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」・谷町線「天王寺駅」  
 谷町線「平野駅」・谷町線「長原駅」

また、道頓堀川遊歩道では、「とんブラ2016~大阪夏の陣戦国バル~」を開催する。会場で無料配布する「兜サンバイザー」着用者に、バル参加店で「ジムビームハイボール」を200円で提供するほか、各店で真田家の家紋である六文銭にちなんだ限定メニューなどを提供予定。さらに遊歩道には戦国武将ゆかりの地域のブースが出展する。

実施期間:2016年7月1日(金)・2日(土) 16:00-21:00※雨天決行(荒天中止)



天王寺駅で掲出中



2016年3月年間入場者数の記録更新セレモニー

### ■USJ入場者数ランキング第4位浮上！

ユニバーサルスタジオジャパン(USJ)は5月26日、2015年の世界のテーマパークランキング※で、入場者数が東京ディズニーシーを超え、世界第4位になったと発表した。USJの入場者数は1,390万人だった。(昨年度対比17.8%の伸び)

2015年のUSJは、「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」を中心に、「ユニバーサル・クルールジャパン」や、「妖怪ウォッチ」のアトラクション、ハロウィンやクリスマスなどのシーズン・イベントを開催した。日本国内だけでなく、海外からも多くのゲストが来場し、集客数を大きく伸ばした。

また、6月2日、USJ15周年とAKB48のCDデビュー10周年を記念したコラボ企画として、AKB48が同所では初のライブ「やり過ぎ！サマーLIVE」を開催すると発表。7月21日から9月4日まで選抜メンバーが“常駐”し、計112公演を行う。

※ランキングは、テーマエンターテインメント協会(The Themed Entertainment Association: TEA、本部:米国カリフォルニア州)が毎年発表している、テーマパーク、ウォーターパークおよび美術館・博物館の年間動向報告書、「The TEA/AECOM Theme and Museum Index report」の2015年版。

### ■関西国際空港インバウンド好調か

オリックスおよびヴァンシ・エアポートは2015年、関西国際空港の株式のそれぞれ40%を出資し、45年間の運営権を獲得した。また、2016年1月の発表によると、2015年の関空の旅客数が前年比20%増の2,321万人と発表した。2000年の実績(2,049万人)を上回り過去最高を更新した。中国や韓国、東南アジアからの外国人客が大幅に増えたことが要因だ。

関空運営会社の中には、JR西日本といった旧国鉄だけでなく、近鉄や阪神・阪急、南海や京阪も出資しており鉄道会社との提携にも期待できる。オリックスは、ヴァンシグループとの提携により国際空港の運営ノウハウを獲得しているだけでなく、オール関西の鉄道会社と連携する仕組みを整えた。

ちなみにショッピングモール売上高ランキングによると、成田空港が売上高1位になっているが、今後関空はインバウンド消費を拡大できる余地がある。オリックスは、ヴァンシエアポートの空港ノウハウを参考にして、商業施設の配置変更や出店施設拡大を行うことが予定されている。

また、関西国際空港を拠点としているピーチ(Peach Aviation)は6月14日、2016年3月期決算を発表した。前年と比べて、3期連続で黒字と増収増益となったほか、2016年3月期の利益をもって計画どおり累積損失を一掃した。

同ピーチ利用乗客は、2015年3月期で外国人の割合が60%台だったものが、約70%まで上昇した。

### ■うめきたエリア再開発計画、進む

うめきた2期区域暫定利用検討委員会(大阪府、大阪市、都市再生機構、関経連で構成。)では、2016年4月、うめきた2期区域(約17ヘクタール)の暫定利用を計画する事業者を募集した。

使用期間や使用範囲についての調整を行い、5月に事業者を正式に決定した。

事業者のうち、産経新聞社は緑と花があふれる庭園などを設ける。その他事業者は、ミツバチが飛び交う菜の花畑や、地下水熱利用の実証検証、スポーツを核とした賑わい創出事業などを計画している。

うめきたは旧梅田貨物駅の跡地で、1期区域(約7ヘクタール)は2013年に再開発を終えて「グランフロント大阪」として開業した。今後、企業などを誘致し、2022年度ごろから順次、街開きしていくという。



うめきた2期区域暫定利用イメージ



うめきた2期区域の位置図

うめきた2期区域を暫定利用する事業名称、事業者および日程(2016年度)

	事業名称	事業者	日程(予定)*
A区域 (北側)	① みんなでつくる うめきたガーデン	産経新聞社	10月~3月
	② 「種青」イベント みどりのサンとクリスマスツリー作り	一般社団法人テラボプロジェクト	12月のうち数日
	③ うめきた茶室茶座~うめきたにかけはるは~	うめきた2016運営実行委員会	10月のうち数日
	④ (仮称)UMEKITA PARK MARKET(ウメるのはあなた)	株式会社Andeco	3月のうち数日
B区域 (南側)	⑤ うめきたグリーンマーケット(仮称)	日本フリーマーケット協会	10月~11月のうち数日
	⑥ 埋立影響に配慮した地下水の熱源利用に関する実証検証	都市域における地下水の熱源利活用研究会	9月~3月
	⑦ いのちの神戯(うめきた菜の花・ミツバチプロジェクト)	うめきた菜の花・ミツバチプロジェクト実行委員会	10月~3月
	⑧ うめきたスポーツパラダイス事業(仮)	有限会社4-3-3	10月~3月のうち数日
	⑨ (仮称)UMEKITA FAMILY ROCK FES	株式会社フューチャーシート	10月のうち数日